

計画値の推計方法

＜訪問系サービス＞

・居宅介護（ホームヘルプ）

人数：H30 からR1 の変化率 1.04 を乗じる。

時間：前期 3 か年平均 15.2 時間／人を人数に乗じる。

・重度訪問介護

過去に実績はないが、登録事業所があることから、まずはR3 は調整、R4,5 は少なく見込む。

・行動援護

前期 3 か年平均

・重度障害者等包括支援

これまで実績がなく、事業所もないためゼロ。

・同行援護

人数：R3 は前期 3 か年平均人数とし、R4・5 はH30～R2 の平均変化率 1.35 を乗じる。

時間：前期 3 か年平均 12.6 時間／人を人数に乗じる。

＜日中活動系サービス＞

・生活介護

人数：前期 3 か年平均変化率 1.01 を乗じる。

日数：前期 3 か年平均日数 19 日／月を見込む。

・自立訓練（機能訓練）

日数：一人当たり 6 日／月で見込む。（週 1 or 2 の人が多いため、間をとって 6 日／月）

人数：前期 3 か年平均

※身体手帳所持者は減少しているので利用者は増えないと考える。

・自立訓練（生活訓練）

人数：前期 3 か年平均

日数：平日毎日利用（21 日／月）を見込む。

・就労移行支援

人数：前期 3 か年平均変化率 1.24 を R2 の人数に乗じた人数。

※サービスの特性上、一定期間で終了するため、増加は見込まない。

日数：前期 3 か年平均 17 日／月を見込む。

・就労継続支援 A 型（雇用型）

人数：前期 3 か年平均変化率 1.1 を乗じる。

日数：前期 3 か年の 1 人当たり平均日数 20 日／月を見込む。

・就労継続支援 B 型（非雇用型）

人数：前期 3 か年平均変化率 1.01 を乗じる。

日数：前期 3 か年の 1 人当たり平均日数 17 日／月を見込む。

- ・ **就労定着支援**

成果目標（就労移行）のR5目標（10人の7割）7人だが、これは実人数であり、また本事業は就労移行してから半年後に最長3年間利用可能であることから、年度をまたいだ利用があることを想定している。途中で期間が終わる人や、利用しなくなる人がいるため、R5に月平均5人で見込み、R4を4人、R3を3人と見込む。

- ・ **療養介護**

最近1人申請があったが、待機中のためR3からプラス1で見込む。

- ・ **短期入所（ショートステイ）**

人数：H30からR1の変化率1.04を乗じる。（新型コロナの影響のあるR2の数は除外するため、R3の人数はR1の人数に1.04を乗じる。）

日数：H30、R1の1人当たり平均日数9日/月で見込む。

- ・ **宿泊型自立訓練**

人数：前期3か年平均

日数：宿泊型なので月30日で算出。

<居住系サービス>

- ・ **自立生活援助**

過去に実績がないが、地域移行を見越してR5に1人を見込む。

- ・ **共同生活援助（グループホーム）**

前期3か年平均変化率1.09を乗じる。

- ・ **施設入所支援**

成果目標に合わせ、R1年度末から6%減の54人とする。

※成果目標はR5年度末の人数、本表は月平均人数のため、異なる。

<計画相談支援・地域相談支援>

- ・ **計画相談支援**

R3は、R2年7～10月（一斉更新後：モニタリング回数の徹底の促進後）の平均90人/月×12か月。

R4・5は、前年に実利用者人数の平均変化率1.015乗じる。

(実利用者数 H29：295, H30：306, R1：308 R2：315)

- ・ **地域移行支援**

施設から：毎年1人ずつ

入院から（精神障がい）：毎年1人ずつ

入院から（知的障がい）：R4=1人、R5=1人

※実情から算出

- ・ **地域定着支援**

実情から算出。

<障がい児通所等>

・児童発達支援

人数：前期3か年平均20人

日数：13日/人（R2は新型コロナの影響を加味してH30とR1の平均）

※児童数は減少しているが、児童発達支援の利用希望は増加しているため、同数で推移すると見込む。

・医療型児童発達支援

近年実績なしのため、ゼロを見込む。

・放課後等デイサービス

人数：前期の最大人数70人を採用。

※児童数が減少していることを踏まえ、1期最大の70人とする。

日数：前期3か年平均10日/人を見込む。

・保育所等訪問支援事業

利用実績がないため、最小人数1人を見込む。

・居宅訪問型児童発達支援事業

近年実績なしのため、ゼロを見込む。

・障害児相談支援

前期3か年平均12人に平均変化率1.2を乗じる。

<地域生活支援事業>

・成年後見制度利用支援事業

R3は、前期3か年の実績と同人数、R4以降は、1人増加を見込む。

・手話通訳者派遣事業

件数、人数ともにH30・R1の平均を見込む。（新型コロナの影響を加味してR2は除外）

・要約筆記者派遣事業

前期3か年平均を見込む。

・手話奉仕員養成研修事業

前期の見込み値を、講座の開催回数から受講人数に変更。→前期3か年平均を見込む。

・介護・訓練支援用具

前期と同様。

・自立生活支援用具

前期3か年平均

・在宅療養等支援用具

人工内耳用電池（R2現時点3人分6件+1人分2件）+ネブライザー1人+たん吸引器1人を見込む。

・情報・意思疎通支援用具

前期3か年平均

- ・ **排せつ管理支援用具**

前期 3 か年平均変化率 0.989 を乗じる。

- ・ **居住生活動作補助用具**

前期 3 か年平均

- ・ **移動支援事業**

R 1・2 年は台風、新型コロナの影響により時間、人数の変化率等は算出不可。H30 年度実績の時間、人数をそのまま採用。

- ・ **地域活動支援センターⅠ型**

増加見込みはないため、R3 は R2 と同数。R4 と R5 は、前期 3 か年平均。

- ・ **地域活動支援センターⅡ型**

増加見込みがないため、R2 実績を採用。

- ・ **地域活動支援センターⅢ型**

市内に事業所が無く、増加見込みがないことから、R2 の実績値を採用。

- ・ **知的障害者職親委託制度**

例年実績から 2 回

- ・ **日中一時支援事業**

人数：R3 は H30・R1 の平均。(新型コロナの影響で R2 は除外。)

R4・5 は R1→3 の変化率 1.05 を乗じる。

- ・ **自動車改造費助成・運転免許取得費助成**

例年実績から 1 回

- ・ **巡回支援専門員整備事業**

来所人数は増加傾向にある者の、児童数が減少していることから同数で見込む。

- ・ **訪問入浴サービス事業(任意事業)**

令和 3 年度より新規開始予定。当初予算要求ベース。月 8 回を 3 人分見込む。

- ・ **重度障害者等就労支援特別事業(任意事業)**

過去に実績がないが、令和 5 年度に 1 名見込む。